



平成8年に導入された共同選果施設では、機械で大きさ・形状により選別されていく。



選別された同じ規格のトマトが、手際よく箱詰めされていく。



下山 房巳さん・豊さん (北川辺地域)

北川辺地域の肥沃な土壌と、52年に渡る「北川辺とまと研究会」のトマト栽培の経験と技術により生産されるトマトは、「木甘坊」の愛称で大手量販店やスーパーで販売されています。

北川辺とまと研究会の会長を務める下山房巳さんは、研究会の会員が共に研究や研修を重ね、生産者が一丸となって技術向上に取り組んできたと話します。またご自身も、息子の豊さんの就農を機に、農業にITを積極的に取り入れ、時代に即し

北川辺とまと研究会



設立：昭和41年 会員数：23人

- ・栽培総面積 約7.8ha
- ・栽培品種 麗容 (接ぎ木土耕栽培)
- ・年間出荷量 約1,700t(選果場利用)
- ・出荷時期 12月中旬～7月上旬

問合せ JAほくさい北川辺支店
(☎0280・62・2211)

た農業を実践しています。

14棟のハウスでは、ハウス内に温湿度センサーを設置し、定期的にデータを収集し管理しています。長年の「経験」での作業が、AIを導入したことで、一定の温度や湿度に達すると自動でカーテンが開閉するなど、人的負担の軽減のほか、安定した高品質生産を実現しています。

木甘坊は、甘さと酸味のバランスが絶妙で、果肉もしっかりしています。

さいころ状に切ったトマトの

サラダが一番好きと下山さん。「愛情を込めて育てたものだからこそ、地元の方にも味わっていただきたいです。」と話します。

なお、市内では、道の駅かぞわたらせ、JAほくさい北川辺農産物直売所で購入することができます。

■道の駅かぞわたらせ

加須市小野袋1737

(☎0280・62・5555)

■JAほくさい北川辺農産物直売所

加須市向古河281-2

(☎0280・62・3636)

